

土と文明

土は文明を育む最も
重要な環境要因で
ある。

土の地方名称

- まさつち
- まつち
- くろぼく
- おんじ
- しらす
- ぼら土
- 鹿沼土

全国あ
ちこち

火山灰や
軽石由来

- どんどん原野
- 十勝坊主
- ばけ土
- しろばね
- さばつち
- ごろつち
- すくも 泥炭

北海道

愛知県

土と関連したアイヌ語の地名

- 広尾: トヨイベツ(土川)
- 豊頃: トイトツキ、トー・エトク(沼のきわまるところ)
- 積丹、常呂: チトイエナイ(食土沢)
- 本別: チエトイ(食土)
- 浦幌: チエトイウシ(食土あるところ)
- 亀田: チエトイベツ(食土のあるところの川)
- 浦河: レタラトイ(白土)
- 静内: トイベツ(食土川)
- 陸別: ユクエピラ(鹿が土を食べる崖)

土の誕生から死まで 4つのパターン

- 湿潤冷涼気候型
- 湿潤温暖気候型
- 乾燥気候型
- 氷河気候型

藤原彰夫：土と日本古代文化(1991)

人間と土の関係

- 土の生から死までの適当なある時期しか、人間は土を利用しえない。
- 各地域の文明文化と土壌のタイプの間には関連が認められる。例えば・・・
- アジアの焼畑文化、稲作文化
- ヨーロッパの狩猟文化
- 砂漠の牧畜オアシス文化

湿潤冷涼気候型の土壌生成

- ポドソル土風化
- 冷帯・寒帯の針葉樹林帯で起こる
- 珧酸の残留集積
- 塩基、酸化鉄、酸化アルミニウム、有機物の流亡と次表層への蓄積
- 強度の酸性化



Ferric Podzol:

鉄ポドソル

Other Podzols in which the ratio of percentage of free iron to percentage of carbon is 6 or more in all subhorizons of the B horizon

No. 47,
Ferric Podzol,
Ferrod,
in Vindeln, Sweden

湿潤温暖気候型の土壌生成

- ラトソル風化
- 高温多雨条件下での風化
- 珪酸および塩基の溶脱
- 酸化鉄、酸化アルミニウムの残留集積
- 酸性化

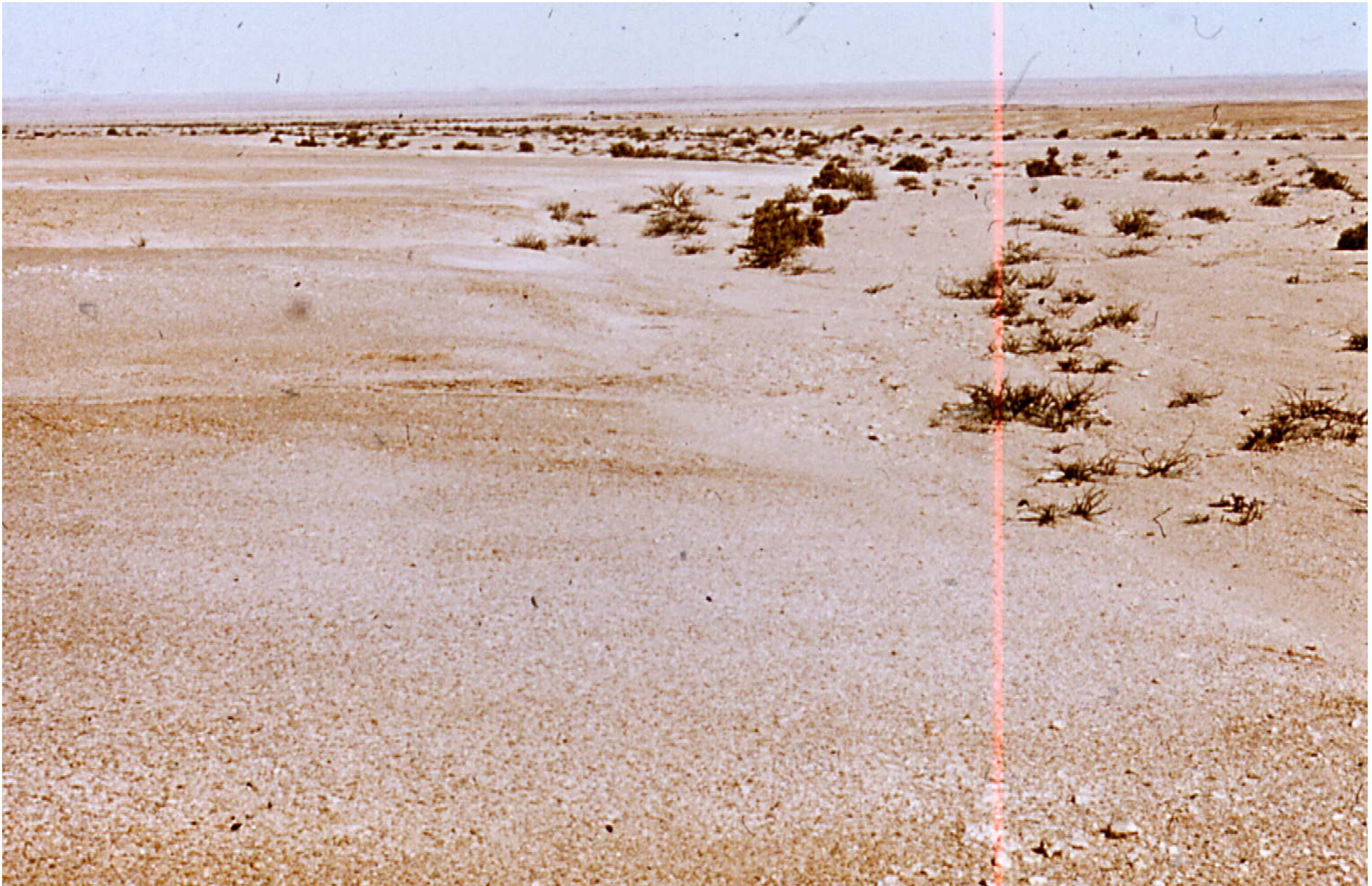


深くまで風化の進んだ鉄アルミナ質土壌

No. 61,
Deep weathering
down to 18 m
in Orthic Ferralsol site

乾燥気候型の土壌生成

- 砂漠土風化
- 高温少雨条件
- 機械的風化の卓越
- 塩基および塩類の残留集積
- アルカリ化



No.20, Gypsic Yermosol, Petrogypsic Gypsiorthid,
in Namib desert



No. 19, Gypsic Yermosol, Petrogypsic Gypsiorthid,
in Namib desert

YERMOSOLS (Y): Other soils having a very weak ochric
A horizon and an aridic moisture regime

氷河気候型

- 氷雪による岩石の機械的破壊



土と文化

- ポドソル土文化
- 褐色森林土・火山灰土文化 焼畑
- 赤黄色土文化 東シナ海を渡ってきた焼畑
(照葉樹林文化 中尾佐助 佐々木高明)
- ラトソル文化
- サンゴ石灰岩土文化
- 草原土文化
- オアシス土文化
- 黄土文化 漢民族と畑作
- 水田土文化 日本人を作り上げた文化

石・砂・泥

世界の異なった文明の基盤

松本健一氏

砂の文明・石の文明・泥の文明
(PHP新書)

泥の文明(新潮選書)

文明と文化

- 文明 civilization

都市・市民・国家の形成に伴う人間の生活様式

- 文化 culture (農耕に通ずる)

民族の歴史と風土に依存する高次元の精神活動

文明、文化の「文」とは

- 文 = 飾り、あや
- 人間が生まれつき備えている本質ではなく、学習して身に付けた教養、知識、道徳、読み書き能力など

石・砂・泥の文明

- **石の文明**: ヨーロッパ (キリスト教)
アラン島 石を砕いて土を作る
- **砂の文明**: 中近東の砂漠地帯
(イスラム教、オアシスと交易の文明)
- **泥の文明**: アジア
(仏教・ヒンズー教、多神教、水田農業の文明)

松本健一氏の論説

砂の文明

- 不毛の砂の上に芽生えた文明
- オアシスでの交易
- コミュニケーションを大切にする
- ネットワークする力
- 一神教

リビアの古代ローマ遺跡



石の文明

- 氷河が残した岩盤に発生した文明
- 男性上位の思想(神は男性)
- 牧畜を主体とするので広い土地が必要
- 次々に新しい土地を求める
- 外に進出する力
(スペイン・イギリス・アメリカの系譜)

Aran Island の風景



石を砕き、海藻を埋めて畑の土を作っている。

泥の文明

- 肥沃なモンスーン地帯
- 泥が豊かな生命活動を育む。
- 多神教(ヒンズー教・仏教・神道)
- 女系社会
- 男女平等
- 内に蓄積する力

泥の文明

- 最も生命力に満ち溢れているのが泥の文明だ。
- 土器が最初につくられたのも泥の文明だ。
- 家屋の建築材料などにも泥が使われている。
- 泥の土地は生産力に富み、人口扶養力が大きい。



岐阜県八百津町の棚田



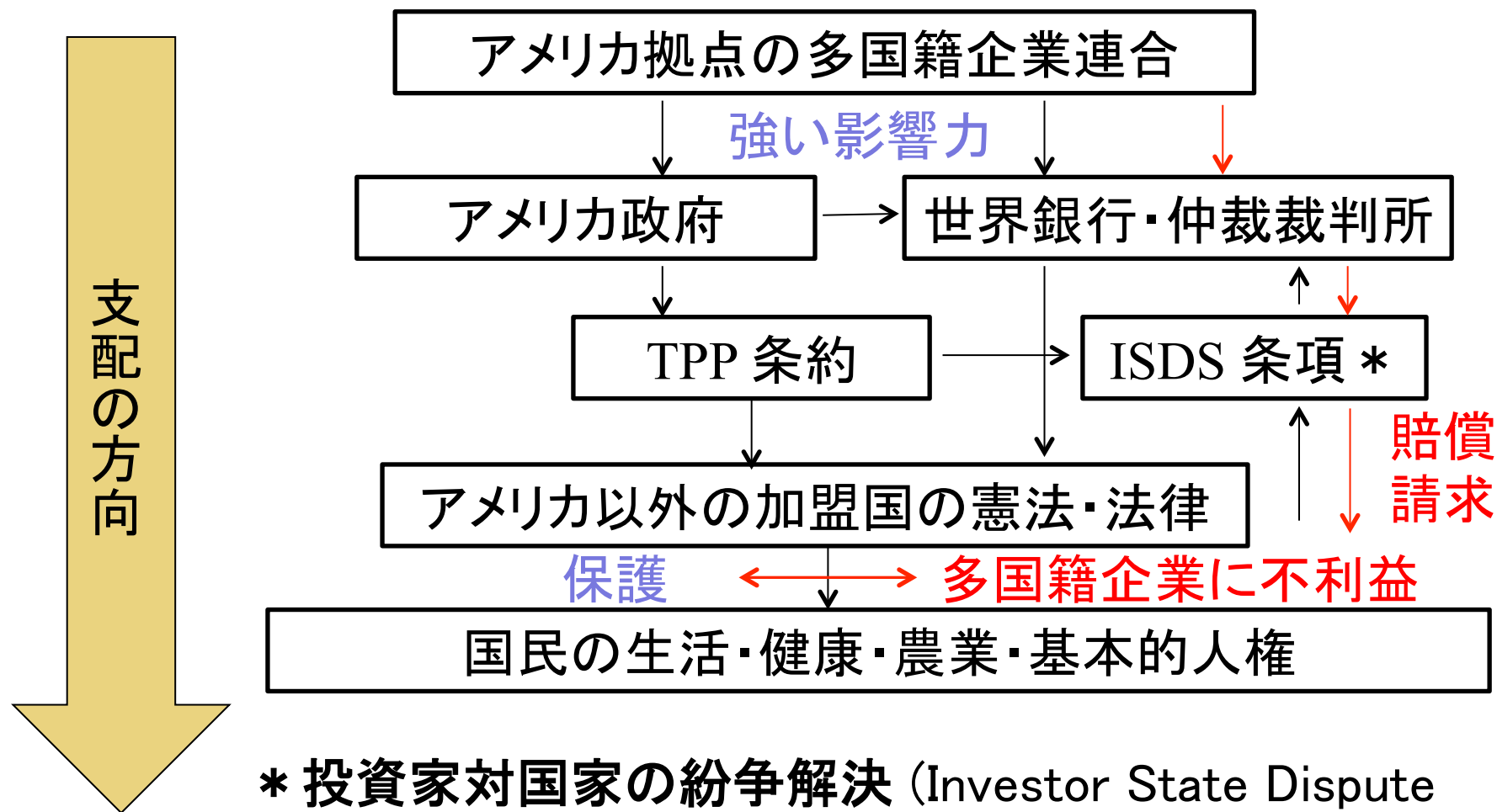
タイ国コンケン水田

秋田県八郎潟干拓地



TPP 加入の意味すること

(日本の農業の行方は?)



* 投資家対国家の紛争解決 (Investor State Dispute Settlement、ISDS) 条項

農業における土の未来は？

- 国際競争、利益追求の中で、土の保全は顧みられるのか？
- 輪作、有機物施用など、土にやさしくても労力のかかる農業は継続可能か？
- 農薬、肥料と遺伝子組換え種子に依存した農業で、生物と人間の健康は守れるのか？